



地域の見守り活動

浪速区民生委員児童委員協議会 阪中 雅博 会長

地域では、現在も小学校区での登下校時の見守りのほか、高齢者等の年齢層においても、助けを必要とする人をできる限り早く発見し、関係機関につなげていく取り組みを続けています。

孤独死などの問題が報道されることがありますが、そんな悲しい出来事は起きてほしくない、区内で困っている人がいるなら、たとえ一人であっても見過ごさない、早急に必要な支援につなげたいと思います。そのために、「地域の見守り」はさらに充実させなければならぬと考えます。また区社会福祉協議会等、さまざまな機関ともしっかり連携し、必要な情報を共有することが大切です。

今後も他の民生委員とこのような思い、目的を共有し、研修等を通じて力を蓄えながら、粘り強い活動を続けていきます。



浪速区地域振興会 寺田 守 会長

食事サービスを実施している地区では、事業そのものが安否確認につながっており、その効果を肌で感じています。しかし現在コロナ禍にあり、喫茶や子育てサロン等さまざまな事業がストップするなど地域の方の社会参加が大きく制限され、残念な気持ちでいっぱいです。

生活様式が大きく変化しており、終息後もこれまでの日常に戻るには、ある程度時間を要すると思われる、見守りはなかなか立ちません。しかし、あきらめることなく、いつか、かつての日常が戻った時には、すぐ事業が動き出せるよう準備しておきたいと思っています。



浪速区社会福祉協議会 北口 武司 会長

要援護者の見守りについては、見守り相談室を始め地域福祉サポーター、地域包括支援センター等の関係者がしっかり寄り添い、関わりを持っていてくれるおかげで、地域の見守りが機能していると感じています。関係者のご尽力に心より感謝したいと思います。

「地域の見守り」は誰か一人でできることではありません。さまざまな人たちの知恵と力が必要です。それらを結集し、共に協働することで更に発展した取り組みにつながることを願っています。



持続可能な社会、誰一人取り残さない社会をめざして

暮らしの困りごとや生活のしづらさを抱えた人が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、できるだけ早く問題を発見し、必要な支援につなぐことが大切です。

見守り活動は、住民同士がつながりあうきっかけであり、ともに支え合って暮らしていける地域づくりを進めるうえで、身近でとても重要な取り組みです。

2015年9月に国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)には17の目標があります。そのうちの一つ「すべての人に健康と福祉を」は、「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進すること」を目標としています。

浪速区の各地域で行われている見守り活動はまさに、この目標の達成に貢献する取組の一つです。

日ごろの見守り活動は、災害時のすばやい安否確認、避難支援の活動にも大きく関わってきます。大きな地震や風水害などの災害に見舞われても、浪速区では一人の命も落とさせない、置き去りにしない。

そのカギは日ごろの見守り活動にあると考えます。そして、より多くの方が関心を持ち、見守り活動に参加していただくことで、その実効性は高まります。

誰一人取り残さない社会をめざして、ともに力をあわせて取り組んでいきましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



浪速区長 幡多 伸子

問合せ 見守り活動について 見守り相談室(浪速区社会福祉協議会内) ☎6636-6027 見守り事業について 保健福祉課 ☎3F③番 高齢者支援 ☎6647-9859